





(3) [筆 合] 2022年3月3日(木曜)

2022年3月3日(木曜日) (雨)



ウクライナ出身の歌手・バンドゥーラ奏者

## ナターシャ・グジーナ

ウクライナ出身の歌手で民族楽器のバンドゥラ奏者ナターシャ・グジーさんは、ロシアのウクライナ侵攻に心を痛め、世界がいま力を合わせて戦争を止めることを願っています。ギエフの母親や友人は爆撃と銃撃が迫るなか不安な日々を送っているといいます。ナターシャさんに話を聞きました。

(記事・中村尚代、写真・佐藤光信)

「核兵器の使用も辞さない」 議でした。いま多くの子どもたちが「家に帰りたい」「戦争で死にたくない」と泣いているのになりました。これ以上恐ろしいことはありません。どれほど、になってしまします。この人の心は壊れているのか。

私は1986年の Chernobyl 原発事故のときに3・5キロ離れた田舎で被曝しました。6 家族に連絡

# 音楽の力信じ 戦争止める

家族に連絡



□ 告白、知人から、たくさんのヒマワリの種をもらひ手てた。その時、私の頭によぎったのは、映画「ひまわり」で見た、いや平原まで続くヒマワリの花の海、童趣と悲しい男女の運命、ソフィアローレン、マリ莲ロマストロヤニニ...若いころ見ていたシーハークライトでの映像だった。そのせいで、そこに生きる人々に容赦なく敗者がおそれがってほしい。しかし、たしかにギエフの街には元オーケストラメンバーが街頭で演奏、人々がそれを聴く映像も...。

□ 五月に来いのアーチュア・オーケストラが演奏会をさみ、先日の練習の日、指揮者から、アンソール曲目「ウクライナ国歌」と提案、即、楽譜が渡され、試奏。それでやることに全員が同意。國歌のカナル曰、「ウクライナは亡びず」です。 N.Tanaka